

鹿児島県

JAいぶすき 記帳代行の対象農家

販売

コスト

消費者ニーズに合わせた荷姿出荷や記帳代行等で、**所得8.9%アップ**



JAいぶすき(鹿児島市喜入地区・指宿市・南九州市穎娃地区)では、**販売拡大**に向けた消費者ニーズに合わせた荷姿出荷やIPM※の取り組みによる「**食の安心・安全**」、**コスト低減**に向けた**記帳代行による事務負担軽減**など、さまざまな取り組みを実践しています。
その結果、記帳代行先の園芸農家1戸当たり所得は、2019年度には286万円となり、2018年度に比べ、**8.9%の増加を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

販売拡大に向けては、マーケットインの取り組みとして、共同販売の画一した荷姿以外に、オクラの注文オーダー本数対応やスナップエンドウのガク切り出荷など、**消費者ニーズに合わせた荷姿出荷に積極的に取り組むことで、売り場の確保を図りました。**
また、オクラ栽培を中心に「食の安心・安全」等を目的として、**天敵(益虫：テントウムシ等)を活用したIPM技術の導入**も進めました。

その結果、記帳代行の対象農家の1戸当たり販売高は、2018年度は1,096万円でしたが、2019年度には1,272万円となり、16.0%増加しました。

コスト低減に向けては、生産資材の予約注文書を**購買職員と営農指導員が連携のうえ作成・回収することで、予約率を向上させ、予約共同購入の値引きによる組合員の資材価格低減を実現**ただけでなく、組合員への施肥アドバイスも行いました。

また、IPM技術導入による農薬散布に係るコスト低減及び省力化のほか、**記帳代行による事務負担軽減等の組合員ニーズに応えるため、年々支援体制の拡充**に取り組みました。

その結果、記帳代行先は、2016年度は10件でしたが、2019年度には35件となり、3.5倍に増加しました。

上記の取り組みにより、2018年度から2019年度にかけて、対象農家1戸当たり**8.9%の所得増大を実現**しました。

IPM: 物理的防除・生物的防除などを経済性に考慮しつつ、総合的に講じることで、病害虫・雑草の発生を抑える技術。安心・安全な農産物生産と防除の労力経費軽減が可能。

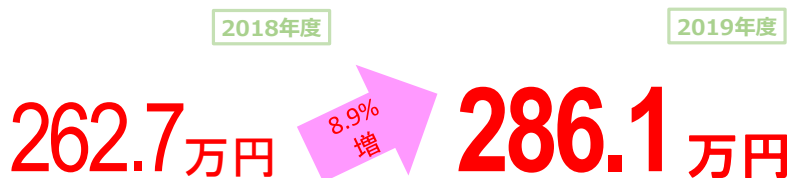
対象農家1戸当たりの販売高



記帳代行の対象農家



対象農家の1戸当たりの農業所得



(記帳代行の様子)



(IPM栽培に取り組むオクラ圃場)

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中(一般社団法人 全国農業協同組合中央会)



JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。